

# 次期中部圏広域地方計画の 策定について

---

- ・国土形成計画について
- ・次期中部圏広域地方計画策定の進め方
- ・中部圏広域地方計画(現行計画)について
- ・中部圏長期ビジョンについて

**国土形成計画 = 国土形成計画法に基づく、国土の利用、整備、保全（「国土の形成」）を推進するための総合的かつ基本的な計画**

## （目的）

現在及び将来の国民が安心して豊かな生活を営むことができる経済社会の実現

## （基本理念）

- ①特性に応じて自立的に発展する地域社会
- ②国際競争力の強化及び科学技術の振興等による活力ある経済社会
- ③安全が確保された国民生活
- ④地球環境の保全にも寄与する豊かな環境の基盤となる国土の実現

※我が国の自然的、経済的、社会的及び文化的諸条件を維持向上させる国土の形成に関する施策を、国内外の連携の確保に配慮しつつ、適切に定める

## 計画事項

- ①土地、水その他の国土資源の利用及び保全
- ②海域の利用及び保全（排他的経済水域及び大陸棚に関する事項を含む。）
- ③震災、水害、風害その他の災害の防除及び軽減
- ④都市及び農山漁村の規模及び配置の調整並びに整備
- ⑤産業の適正な立地
- ⑥交通施設、情報通信施設、科学技術に係る研究施設その他の重要な公共的施設の利用、整備及び保全
- ⑦文化、厚生及び観光に関する資源の保護並びに施設の利用及び整備
- ⑧国土における良好な環境の創出その他の環境の保全及び良好な景観の形成

## 全国計画（閣議決定）

### 総合的な国土の形成に関する施策の指針

- ①国土形成に関する基本的な方針
- ②目標
- ③目標を達成するために全国的な見地から必要とされる基本的な施策

※国土利用計画（国土利用計画法に基づく全国計画）と一体のものとして定める。

## 広域地方計画（国土交通大臣決定）

広域地方計画区域ごとに、全国計画を基本として定める。

- ①広域地方計画区域における国土形成に関する方針
- ②目標
- ③広域の見地から必要とされる主要な施策

## 中部圏広域地方計画(平成28年3月29日)

○目指すべき将来像  
暮らしやすさと歴史文化に彩られた“世界ものづくり対流拠点-中部”

○基本方針

- (1) 世界最強・最先端のものづくりの進化
- (2) SMRのセンター、我が国の成長を牽引
- (3) 地域の個性と対流による地方創生
- (4) 安心・安全で環境と共生した中部圏形成
- (5) 人材育成と共助社会の形成

---

<中間評価 令和4年2月18日>

○最先端のものづくり中枢圏の形成に向け、イノベーションの創出や物流を支えるインフラ整備など、取組が進んでいる。  
一方で、航空機部品の製造品出荷額の低下など「世界のものづくり対流拠点-中部」に向けては停滞もみられる。

○社会経済情勢の急速な変化等を踏まえ、取組を継続しつつ、新たな「中部圏広域地方計画」の策定に着手していく。

## 新たな国土形成計画(全国計画)の検討

⇒ 中間とりまとめ(令和4年7月15日)

## 中部圏長期ビジョン(令和4年2月21日)

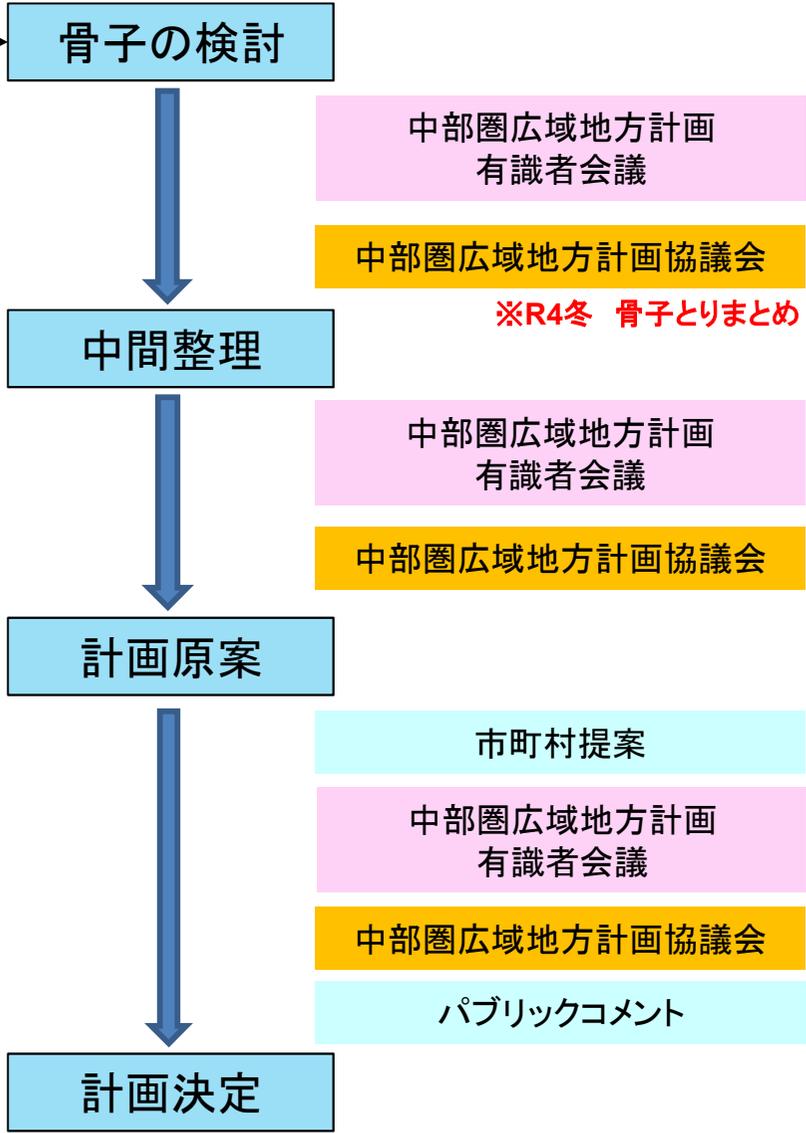
社会経済情勢を踏まえ、2050年を見据えた中部圏の地域づくりのあり方や将来像についての提言

<中部圏長期ビジョン検討会>

○目指すべき将来像

- (1) QOLを高める(人)
- (2) 世界的課題にチャレンジし成長する(産業)
- (3) ハード・ソフトのネットワークを拡充し、個性を磨き助け合う(地域)

## 次期中部圏広域地方計画 策定の進め方(予定)



- 中部圏広域地方計画を検討するため、中部圏広域地方計画協議会（法第10条）を設置。
- 協議会の運営補助、専門的事項の検討のため、幹事会、ワーキングを設置。
- 広域地方計画（素案）の検討・作成において意見聴取のため、有識者会議を設置。
- 圏域間の共通課題、日本海から太平洋にわたる連携した取組等を協議するため、北陸圏・中部圏広域地方計画合同協議会を設置。

## 中部圏広域地方計画協議会

### 【構成員】

#### ○関係県及び関係指定都市

富山県	富山県知事
石川県	石川県知事
福井県	福井県知事
長野県	長野県知事
岐阜県	岐阜県知事
静岡県	静岡県知事
愛知県	愛知県知事
三重県	三重県知事
滋賀県	滋賀県知事
静岡市	静岡市長
浜松市	浜松市長
名古屋市	名古屋市長

#### ○経済界

中部経済連合会会長  
 東海商工会議所連合会会長  
 長野県商工会議所連合会会長  
 静岡県商工会議所連合会会長

#### ○市町村

東海市長会会長  
 東海四県町村会代表者

#### ○国の関係各地方行政機関

警察庁	関東管区警察局長、中部管区警察局長
総務省	信越総合通信局長、東海総合通信局長
財務省	関東財務局長、東海財務局長
厚生労働省	関東信越厚生局長、東海北陸厚生局長
農林水産省	関東農政局長、東海農政局長、 関東森林管理局长、中部森林管理局长、 近畿中国森林管理局长
経済産業省	関東経済産業局長、中部経済産業局長、 近畿経済産業局長
国土交通省	関東地方整備局長、北陸地方整備局長、 中部地方整備局長、近畿地方整備局長、 北陸信越運輸局長、中部運輸局長 東京航空局長、大阪航空局長 第三管区海上保安本部長、 第四管区海上保安本部長、 第九管区海上保安本部長
環境省	関東地方環境事務所長、 中部地方環境事務所長

#### ○オブザーバー

神奈川県	神奈川県知事
新潟県	新潟県知事
山梨県	山梨県知事

## 中部圏広域地方計画協議会 幹事会

- ・ 協議会規則第3条2項に基づき設置
- ・ 協議会の議事、運営に関する調整
- ・ 中部圏広域地方計画推進室が招集

## 中部圏広域地方計画協議会 ワーキング

- ・ 協議会規則第3条3項に基づき設置
- ・ 広域地方計画の策定に関する専門的事項の検討
- ・ 広域地方計画の実施に関する検討
- ・ 中部圏広域地方計画推進室が招集

## 中部圏広域地方計画有識者会議

- ・ 法第10条第3項（五）に基づき設置
- ・ 学識経験等を有する者の意見聴取

## 北陸圏・中部圏広域地方計画合同協議会

- ・ 協議会規則第3条4項に基づき設置（施行規則第3条2）
- ・ 両圏域の共通課題や日本海から太平洋に渡る連携した取組等を協議
- ・ 幹事会、ワーキンググループ会議設置

## 第1章 我が国と中部圏を取り巻く情勢

### 第1節 時代の潮流(我が国を取り巻く情勢)

1. グローバリゼーションの進展
2. 世界を先導するスーパー・メガリージョンの形成
3. 急激な人口減少・少子化、異次元の高齢化の進展
4. 巨大災害の切迫、インフラ老朽化
5. 環境、エネルギー問題への対応
6. 技術革新の進展
7. 国民の価値観の変化
8. 国土空間の変化

### 第2節 中部圏を取り巻く情勢

1. **中部圏の地域特性・強み**
  - ・地勢・自然的特性
  - ・歴史・文化的特性
  - ・多極分散型で重層的な地域構造
  - ・ものづくりに秀でた産業特性
  - ・ゆとりある生活環境
2. **中部圏の状況・課題**
  - ・人口動向
  - ・産業とインフラ
  - ・災害
  - ・環境、エネルギー、土地
  - ・地域社会と生活

## 第2章 中部圏の目指すべき将来像と実現に向けた基本方針

### 第1節 中部圏の目指すべき将来像

暮らしやすさと歴史文化に彩られた “世界ものづくり対流拠点－中部”

- 〈世界の中の中部〉 … 世界最強・最先端のものづくり産業・技術のグローバルハブ
- 〈日本の中の中部・中部の中の人々〉 … リニア効果を最大化し都市と地方の対流促進、ひとり一人が輝く中部
- 〈前提となる安全・安心、環境〉 … 南海トラフ地震などの災害に強くしなやか、環境と共生した国土

# 中部圏広域地方計画(現行計画)について

## 第2節 将来像実現に向けた基本方針

### 第3章 基本方針に係る具体的方策

### 第4章 新たな中部圏の実現に向けた具体的取組

＜方針1＞  
世界最強・最先端のものづくりの進化

1. 我が国の成長を担う産業の強化  
～企業の国内回帰・海外の対日投資を呼び込む～
2. 高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創生
3. 水素社会実現など新しい世界モデルの提示
4. 国際競争力を支える産業基盤の強化

1.ものづくり中部・世界最強化プロジェクト

＜方針2＞  
スーパー・メガリージョンのセンター、我が国の成長を牽引

1. リニアを活かした新たな中部圏の形成  
～日本のハートランド・中部～
2. リニア効果の中部・北陸圏への広域的な波及
3. 国際大交流時代を拓く観光・交流

2.リニア効果最大化対流促進プロジェクト  
3.新たな観光交流おもてなしプロジェクト

＜方針3＞  
地域の個性と対流による地方創生

1. コンパクト+ネットワーク
2. 広域的な連携により創り出す都市圏・地方圏の形成
3. 地域産業の活性化による地域活力の維持・発展
4. 地域の個性を活かした交流連携の創出
5. 快適で安全・安心な生活環境の構築

4.中部圏創生暮らしやすさ実感プロジェクト  
5.快適・安全安心な生活環境実現プロジェクト

＜方針4＞  
安全・安心で環境と共生した中部圏形成

1. 災害に対して粘り強くなやかな国土の構築
2. 環境と共生した持続可能な地域づくり
3. 国土の適切な保全
4. インフラの維持・整備・活用

6.中部・北陸圏強靱化プロジェクト  
7.環境共生・国土保全プロジェクト  
8.インフラ戦略的維持管理プロジェクト

＜方針5＞  
人材育成と共助社会の形成

1. 中部圏を支える人材の育成と確保
2. 全ての人々が参画し輝く社会の形成
3. 多様な主体による共助社会づくり
4. 誰もが愛着と憧れを持ち、働き住み続けたい地域づくり
5. 医療・介護、福祉における安心な暮らしの確保

9.すべての人が輝く「ひとづくり」プロジェクト  
10.新たな「つながり」社会構築プロジェクト

## 第5章 計画の効果的推進に向けて

・ 選択と集中による重点化・効率化を図った施策展開

・ PDCAサイクルによるフォローアップ

# 中部圏広域地方計画(現行計画)について

中部圏広域地方計画 中間評価 令和4年2月18日

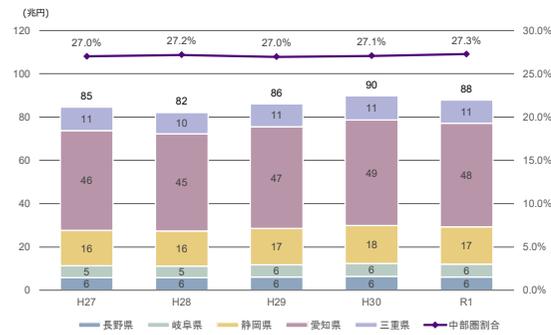
## <計画前半期間における達成状況>

**基本方針1** 全国に対する中部圏の製造品出荷額等の割合は高いものの、横ばいで推移している。世界の中で中部がものづくり産業・技術をリードするために、さらなる取組の推進が必要である。

**基本方針3** 乗合バス走行台キロの減少が進んでいる。高齢化社会や中山間地域に対応する自動運転サービスの実証実験など、ひとり一人が真の豊かさを実感できる中部を築くために、さらなる取組の推進が必要である。

### 【製造品出荷額等】

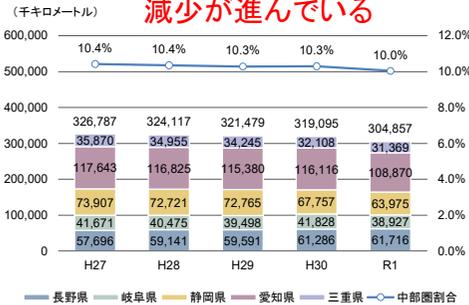
全国に対する割合は27.3%と高いものの横ばい



【出典】経済産業省「工業統計調査結果」より作成

### 【乗合バス走行キロ】

運行本数の減少や路線の統廃合により、減少が進んでいる



【出典】国土交通省「数字で見る自動車2021」「数字でみる中部の運輸2021」「北陸信越交通・運輸統計年鑑」より作成

### 自動運転の実証実験



【写真】愛知県資料

■ 自動運転車両 (中部国際空港)

## <計画後半期間における課題及び課題解決に向けた取組の方向性>

<世界の中の中部> 世界最強・最先端のものづくり産業・技術のグローバル・ハブ

持続的な成長のためには、将来的な産業構造を考えイノベーションが重要である。スタートアップを支援、育成し、ものづくりに付加価値を与えるクリエイティブな人材が集まる国内外から選ばれる魅力ある地域づくりを進める。

<日本の中の中部・中部の中の人々> リニア効果を最大化し都市と地方の対流促進、ひとり一人が輝く中部

中山間地域などにおいて、自立分散・循環型社会の実現に向け、様々な先進的な取組を継続し、世界中から優秀な人材が集う地域を形成する。

## <総括>

- 最先端のものづくり中枢圏の形成に向け、イノベーションの創出や物流を支えるインフラ整備など、取組が進んでいる。一方で、航空機部品の製造品出荷額の低下など「世界のものづくり対流拠点—中部」に向けては停滞もみられる。
- 社会経済情勢の急速な変化等を踏まえ、取組を継続しつつ、新たな「中部圏広域地方計画」の策定に着手していく。

# 中部圏長期ビジョンについて

## 中部圏長期ビジョン策定のプロセス

- 令和3年6月に学識者やベンチャー企業者等からなる中部圏長期ビジョン討会を設立し、6回にわたり検討会を開催
- ビジョンの実効性を確保するため、検討段階から中部地整管内のすべての県・市町村の首長等と、ビジョンの実現に向けて意見交換を実施し、各地域で実施している優良事例を共有
- 中部圏全体に及ぶ重要な課題については、「重点連携プロジェクト」とし、国の機関・県・経済団体等が推進主体となり、中部圏が一体となって取り組むこととした

## 中部圏長期ビジョンの特徴

- 人（QOL）を重視
  - ・人が幸せに生きることができる社会の構築
  - ・地域の付加価値を向上
  - ・地域と生活の満足度につながる「コトづくり」に着目
- 国際的・社会的課題へのソリューションを提供
  - ・持続的な成長が実現できる地域の構築
  - ・世界的課題に挑戦し新たな投資や成長を呼び込む
  - ・スタートアップ、CN等の新しい成長の芽を育てる
- 地域相互の補完・連携による多様性と活力のある圏域づくり
  - ・デジタル、先進モビリティの活用等による広域的な地域マネジメント
  - ・大都市から中山間地域まで地域をつなぎ、多様性と活力のある圏域づくり

## 中部圏長期ビジョン（令和4年2月）

はじめに

中部圏の持続的な発展のためには、地域づくりの方向性について、関係者が共有し、連携して取り組むことが重要である。

中部圏では、2050年を見据えた地域づくりのあり方や将来像などについて、2014年11月に「第3次まんなかビジョン基本理念」がとりまとめられ、各分野で取り組みが進められている。一方、人口減少・少子高齢化の更なる進行や自然災害の激甚化・頻発化、新型コロナウイルス感染症を契機としたデジタル化の急速な進展など、社会経済情勢の変化が生じている。昨年6月には、国土審議会 計画推進部会 国土の長期展望専門委員会において、今後の国土づくりの方向性について「国土の長期展望」がとりまとめられた。

このため、中部圏長期ビジョン検討会は、「第3次まんなかビジョン基本理念」を踏まえつつ、中部圏を取り巻く現状や変化を分析し、中長期的・広域的な視点に立って、今後の中部圏の地域づくりのあり方や将来像についての提言をとりまとめた。

## 第1章 社会経済情勢の変化

### 1. 社会全般の変化

- (1) 人口減少・少子高齢化の進行、在留外国人数の増加
- (2) デジタル社会の急速な進展
- (3) カーボンニュートラルへの対応
- (4) 東京一極集中の継続

### 2. 生活の変化

- (1) 働き方の変化
- (2) ライフスタイルの変化

### 3. 産業の変化

- (1) 新興国の成長による国際競争の激化
- (2) 労働や産業の質の変化

### 4. 災害リスクの変化

- (1) 南海トラフ地震の切迫
- (2) 洪水・土砂災害の激甚化・頻発化
- (3) インフラの老朽化

## 第2章 中部圏の主な特徴

### 1. 中部圏の強み

- (1) 日本のまんなか
- (2) 充実した交通インフラ・ネットワーク
- (3) 豊かな自然環境
- (4) 固有の歴史・文化
- (5) 経済と食を支える基盤産業
- (6) ゆとりある生活環境

### 2. 中部圏の課題

- (1) 災害リスク
- (2) 若者・女性への訴求力

## 第3章 中部圏の目指すべき将来像

### 1. 基本的な考え方

- ◇豊かな自然、固有の歴史・文化、ものづくりをはじめとした多様な産業を有する中部圏の各地域が個性を磨き、世界から人材が集まり、すべての人が活躍できるQOLの高い魅力的な地域をつくる。  
※ QOL (Quality of Life) : 地域と生活に対する個人の満足度
- ◇美しい自然を維持しながら、産学官の連携のもと、我が国の社会・経済を支えてきた中部圏の特性を活かし、世界的課題に挑み、新たな産業を育み、持続的に成長する地域をつくる。
- ◇交通・情報通信ネットワークを拡充し、中部圏内の多様な地域が補完・連携して中部圏が一体となって成長し、首都圏・近畿圏とともに我が国の社会・経済をけん引し、世界の拠点としての機能を果たす。

### 2. 目指すべき将来像

#### (1) QOLを高める(人)

- 【人を惹き付け、選ばれる地域】
- 【生活を楽しむ自然、歴史・文化、芸術等の魅力を感じることができる地域】
- 【人が豊かに過ごせる地域を共助・参加型でデザイン】
- 【子供が生まれ、女性、若者、高齢者、外国人等様々な人材が活躍・共生できる地域】
- 【中山間地域等で豊かに暮らし続けられる持続可能な自立分散・循環社会の実現】
- 【激甚化する自然災害に対応する防災・減災、国土強靱化の推進】

#### (2) 世界的課題にチャレンジし成長する(産業)

- 【SDGsの達成など世界的課題にチャレンジする地域】
- 【クリエイティブな仕事、イノベーションがうまれる地域】

#### (3) ハード・ソフトのネットワークを拡充し、個性を磨き助け合う(地域)

- 【ネットワークの活用で、一体となって成長し、隅々まで豊かさを供給】
- 【我が国の社会経済をけん引するスーパー・メガリージョン】
- 【強靱なネットワークの維持・確保】

## 第4章 将来像の実現に向けて

### 1. 基本的な考え方

- ◇中部圏の目指すべき将来像の実現に向けて、各地域で市町村が中心となり取り組みを進め、国、県は市町村をまたぐ横断的視点から将来像実現のための施策を進める。
- ◇各主体はビジョンの実現に向け、他の主体、分野の取り組みを意識し、総合的な効果が発揮されるよう中部圏に留まらず様々な主体と連携して施策を実施する。
- ◇中部圏全体に及ぶ広域かつ重要な課題については、重点連携プロジェクトと位置付け、推進主体を定め、関係する国の機関、県、経済団体等が組織や分野の垣根を越えた強固な連携により相乗効果が発揮されるよう取り組みを加速する。
- ◇他の地域での取り組みが参考となるよう、また、地域での連携が促進されるよう、各地域で市町村等が取り組んでいるビジョンを実現するための施策を共有する。

### 2. 重点連携プロジェクト

#### (1) 防災・減災、国土強靱化

- 【南海トラフ地震への備え】
- 【地域づくりと連携した流域治水による災害対応】
- 《南海トラフ地震対策中部圏戦略会議、流域治水プロジェクト、伊勢湾再生行動計画》

#### (2) スタートアップ

- 【世界から人を惹き付けるスタートアップ企業の集積・創出】
- 【スタートアップ企業・人材を惹き付ける環境、仕組みづくり】
- 《Central Japan Startup Ecosystem Consortium》

#### (3) 観光

- 【地域資源を活かし、地域の個性を継承】
- 【アート、食文化等を活かした観光需要の拡大】
- 《観光ビジョン推進中部ブロック戦略会議》

#### (4) カーボンニュートラル

- 【すべての産業が一体となったカーボンニュートラルへの転換】
- 《カーボンニュートラルポート形成》

#### (5) ネットワーク

- 【人、モノ、情報をつなぐ高度な都市機能の強化・維持】
- 【先進的モビリティ等の活用】
- 【リニアを活かす、関係人口の拡大】
- 《多様な空間を構成する道路、ネットワークを支える港湾、5G・ローカル5Gの普及促進、先進的モビリティ、リニア中央新幹線を活かすプロジェクト》

(令和4年6月21日時点)

重点連携プロジェクト		推進主体
防災・減災、国土強靱化	南海トラフ地震対策中部圏戦略会議	中部地方整備局
	流域治水プロジェクト	中部地方整備局、各県
	伊勢湾再生行動計画	中部地方整備局
スタートアップ	Central Japan Startup Ecosystem Consortium	愛知県、名古屋市、浜松市、中部経済連合会、名古屋商工会議所
	中部DX推進コミュニティ	中部経済産業局、中部地方整備局、中部経済連合会、名古屋商工会議所
観光	観光ビジョン推進中部ブロック戦略会議	中部運輸局
	広域観光におけるデジタル技術の活用による商品造成・施策立案の支援	中部経済連合会 (中央日本総合観光機構)
	太平洋岸自転車道(ナショナルサイクルルート)	中部地方整備局
	名古屋三川(中川運河、堀川、新堀川)の魅力向上	名古屋市、名古屋港管理組合
カーボンニュートラル	カーボンニュートラルポート形成	中部地方整備局
ネットワーク	多様な空間を構成する道路	中部地方整備局
	ネットワークを支える港湾	中部地方整備局
	5G・ローカル5Gの普及促進	総務省東海総合通信局
	先進的モビリティ	—
	しずおか自動運転 ShowCASEプロジェクト	静岡県
	空の移動革命促進事業	三重県
	静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト	静岡市
	リニア中央新幹線を活かすプロジェクト	—
	リニアバレー構想	長野県
	リニア中央新幹線を活用した地域づくりの推進	岐阜県
名古屋駅のスーパーターミナル化	名古屋市	